



# 津田小だより

松江市立津田小学校

令和8年9月16日

校長 小林 敏朗

8月28日（金）、子どもたちの元気な顔、声が学校に帰ってきました。やはり、子どもたちの明るい笑顔が弾け、元気な声が響く学校はいいなとつくづく思いました。登校日数79日の2学期が始まりました。1日1日、1時間1時間の学習や活動、学びを大切にしながら、子どもたち一人一人の成長を促し支えていきたいと考えています。保護者の皆様、地域の皆様、1学期同様、物心両面からのご理解・ご協力・ご支援をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

## 始業式から…

今学期の始業式では、最初のところで7月28日に発生しました熊本地震で亡くなりました方々のご冥福をお祈りするとともに、1日も早い復興を祈念し、全員で黙祷を捧げました。また、子どもたちには「熊本で被災したみんなと同じ小学生が、どんな夏休みを過ごしたのだろうと想像してほしい。」ということも話しました。そして、始業式では次のような話をしました。

夏休みは元気に楽しく過ごしましたか？いよいよ今日から2学期のスタートです。2学期、全校では「うたごえ広場」、6年生は修学旅行、5年生は連合音楽会などの行事があります。行事もがんばってほしいし、毎日の学習、1時間1時間の学習を大切にしてほしいと思います。

それでは、今日の始業式ではアメリカに伝わるお話をします。みなさんなら、どちらの人になるか、考えながら聴いてください。

靴を売る2つの会社に、それぞれ靴を売って歩くAさんとBさん、2人のセールスマンがいました。ある時、この2人は、遠く離れた南の島に靴を売りに行くことになりました。島に着くと、2人にとって予想外の状況が待っていたのです。何と、その島の人たちはみんな、靴を履いていない、裸足なのです。その様子を見たAさんはがっかりしながら、会社に電話しました。

「社長、えらいところに来てしまいました。私たちにとっては全く用のないところです。ここでは靴は売れません。だって、みんな裸足なのですから。」と。

一方のBさんは、興奮しながら急いで会社に電話しました。

「社長、素晴らしいところへ来ました。ここでは、靴を誰も履いていません。靴のよさをわかってもらえたら、たくさんの靴が売れます。急いで、ありったけの靴をこの島に送ってください。」と。

AさんとBさんの違い、どう思いましたか？Aさんのように「靴は売れません」とすぐにあきらめてしまうか。Bさんのように「靴が売れるチャンス」と考えるか。とても大きな違いですね。ピンチを前向きに考え、チャンスに変えたBさんの会社はきっと大成功したことでしょう。

みなさんは「うまくいかないな」「思い通りにならないな」と感じた時、「もうダメだ。」とすぐにあきらめてしまうのか、それとも自分が伸びるチャンスだと思って前向きになるのか、どちらですか？それを決めるのは、自分の心次第です。自分の心次第で、考え方は変わります。乗り越えようとがんばった先には必ず自信がついた自分、成長した自分が待っています。

2学期の学習や行事に前向きに、前向きに、そして粘り強く、あきらめることなく粘り強く取り組んでいきましょう。先生たちは皆さんの応援団です。いつも応援します。みんなと先生たちで「笑顔あふれる津田小学校」を創っていきましょう。

今回の始業式では、自分の思い通りにならない時や想定していなかった場面などでも、前向きに粘り強くがんばって取り組んでほしいという願いを込めて話をしました。とかく、子どもでも（大人でも？）思い通りにならない時など、すぐにあきらめて投げ出してしまいがちです。そうではなく、そのような時や場面でも、まずは1歩を踏み出してみることに、違う角度から物事を考えることに、捉え直してみることに、心のもちようで変わってくることと思います。この2学期、すべてが思い通りにいくことはないと思います。思い通りにいかない、想定していなかったことでも場面でも、投げ出さずにがんばってほしいと思います。



話は変わって…。いつも思うことですが、始業式や終業式など全校で集合する場面の集まり方、整列の仕方は、津田っ子はとても上手だなと思います。私語一つしません。今回の始業式でも一言も私語は聞こえませんでした。これは、最初に体育館入場してくる6年生が、静かにサッと整列すること、全校みんなが揃うまで静かに待つことを口に出しては言いませんが、自分たちの態度と姿勢で示し、このような空気をつくってくれているからだと思います。その6年生や高学年の様子を見て（察して）「ぼく・わたしたちもやらなきゃ。」というふうに伝播しているのだろうと感じます。そして、それにプラスして今回の始業式で特に感じたことは聴くこと、聴き方の成長です。子どもたちはしっかりとこちらに目を向けて聴くことができていましたし、話の内容をしっかりと考えながら聞いてくれている印象をもちました。この聴き方は日頃の授業や活動にもつなげていってほしいと思います。始業式の津田っ子の様子を見ながら、2学期の成長が楽しみになりました。

### ゲストティーチャーをお迎えして…

本校は、日々の学習や活動を支えていただいたり、登下校の安全面を中心に見守りをしていただいたり、たくさんの地域ボランティアの皆様にお世話になっています。本当にありがたいことです。そして、地域ボランティアの皆様だけでなく、年間を通じてゲストティーチャーの方をお迎えして、学習や活動を展開しています。ゲストティーチャーの皆様はその道のプロフェッショナルであり、その方のお話を聞きながら子どもたちは学習に取り組んでいます。例えば、1学期では3年生の総合的な学習の時間に「津田かぶ」を広い畑で育て、さらに販売までしておられる方をお迎えしました。6年生も同じく総合的な学習の時間に「津田の松原」について詳しい方をお迎えし、津田の歴史についての学びを深めました。今学期になり先日（9月9日）、5年生の総合的な学習の時間には「しまねおごとろぼ」代表の方をお迎えし、仕事の意義について、お金にはどういう意味があるのかなどについてお話を伺いました。これからも、4年生の社会科や5年生の総合的な学習の時間、6年生の平和学習など、多くのゲストティーチャーの皆様をお迎えして学習に取り組む予定にしています。地域のプロフェッショナルな方からしっかりと学んで、一人一人の学びを深めてほしいと思っています。



3年生「津田かぶ」の学習



6年生「津田の松原」の学習



5年生 仕事の学習